**令和４年度　学校経営方針**

**１　教育目標**

　　　　心身ともに健康で、主体的・創造的な児童の育成

**２　めざす児童像**

○すすんで学ぶ子(知)　　○思いやりのある子(徳)　　○たくましい子（体）

**３　めざす学校像**

・一人ひとり目標を持ち、目標に向って粘り強く挑戦できる学校

・児童や保護者、地域住民から信頼され、協力・応援される学校

　・自校の良さを自覚して、伝統を守り受け継いでいく学校

**４　学校経営の基本方針**

**重点目標　　　　本質　　　挑戦　　　自己肯定感**

・安全安心な環境の中で、保護者や地域住民からの信頼と応援を基盤に、目標に向かって強い意志と行

　動力を持って粘り強く挑戦し、自己肯定感を高めることができる児童の育成を目指す。

・どんな状況下であっても、本質を見極めて全教職員が協働して対応し、学校経営への参画意識を高め

ていける学校づくりを目指す。

**（１）知徳体のバランスの取れた学校づくり**

①確かな学力

・学習規律の定着、家庭学習の習慣化を図り、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけた児童を育成

　する。

・多様な子供たちの資質・能力を育成できるように、授業で一人一台端末やICTを効果的に活用して、意欲を持って主体的に学習に取り組めるようにする。

・学力向上ロードマップ・学力向上プランに基づき、組織的にPDCAサイクルで指導の充実を図り

校内研修（授業研究等）を通して授業改善・授業力向上を目指す。

・課題に対して、既習や学習用語を意識させることで考える見通しを持たせ、対話を通して自分の

考えを深めたり、再構築したりできるようにする。

②豊かな心

・気持ちの良い語先後礼の挨拶が、いつでもどこでも誰にでもできるように、日常的に肯定評価をしながら習慣化を図る。

・道徳の時間や行事等の体験を通して、道徳的価値を深く見つめ、自己を振り返らせることで、道徳的実践力の向上を目指す。

・自ら目標を設定し、粘り強くやり抜く子の育成を目指す。

・縦割り班活動や異学年の交流を通して、相手の立場に立って人を思いやる心を育てる。

③健やかな体

・「体力アップ１校１プラン」をもとに、計画的に体力向上や運動能力向上を図り、年間を通して

児童に「体を動かす楽しさ」「体力の向上」を実感できる活動を実践する。

・各種体育的行事(スポチャレ・うかわっ子オリンピック・校内マラソン大会等)で、各自の目標を持た

　せ、結果だけでなく粘り強く取り組んだ過程を評価し、意欲向上を図る。

・「メディアスリム大作戦」及び「元気ハッピー貯金」等の取り組みを中心に望ましい生活習慣の定着

を図る。

④特別支援教育の充実

・児童の困り感を把握し、特性に応じた声かけや支援の仕方を工夫することで、自己肯定感や自己有用感を高める。

・毎月の児童理解の会や特別支援会議等で、支援を要する児童への共通理解を図り、個に応じた支援体制を組織的に整え、切れ目のない指導を行う。

**（２）安全・安心な学校づくり**

・「いじめは、どの子にも、どの学校にも起こりうる」という認識の下、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行い、いじめや不登校のない安心な学校・学級をつくる。

・避難訓練等を通して、危機回避能力の育成と家庭地域と連携した安全教育・防災教育を推進する。

・一人一人の教職員が危機管理意識を高く持ち、「報告・連絡・相談」を徹底し、教育活動に当たる。

**（３）家庭・地域との連携強化**

　①家庭と学校との連携

・家庭学習習慣の定着を図り、家庭学習の量的、質的向上を目指す。

　・定期的に家庭読書週間、読書紹介カードなどに取り組み、家庭での読書活動を推奨する。

　・基本的な生活習慣の形成と健康な食生活の改善・充実を図る。(早寝早起き朝ごはん)

②地域に開かれた学校づくり

・教育目標達成に必要な教育資源「人・もの・自然」を教育課程に位置づけて、保護者や地域の協

力を得ながら地域に根差した教育活動を意図的・計画的に展開していく。

・「海洋教育」を核として、地域の教育資源を有効活用した「ふるさと教育」に積極的に取り組み、地域の良さを見いだし地域の一員としてふるさとに誇りを持つことができる学校づくりを目指す。

・各種便りやホームページを活用し、学校の取り組みや児童の活動の様子を発信する。

**（４）活力ある教師集団づくり**

　　①信頼される教師集団

・教育公務員として、服務規律を遵守し、プロ意識を持って児童や保護者、地域から信頼される

教師集団を目指す。

・児童や保護者からの相談など、誠意を持って対応し、組織的に課題解決に取り組む。

②人材育成と業務改善

・教員育成指標をもとに、キャリアステージに応じた目標を立て、計画的に育成する。

・「若プロ」「校内研修」を通して、組織的に人材育成を行い、教職員の資質・授業力向上を目指す。また、職員の得意分野を生かし、メンターとなって知識を広めたり、活躍の場を設けたりする。

　　・教師が心身ともに健康で子供たちと向き合うことができるように、業務改善を通して時間外勤務

　　　時間の削減をめざし、ワークライフバランスの充実を図る。